**2024 年 10 月　(第 3 版)
*2024 年 3 月　(第 2 版)
認証番号　305ADBZX00042000

機械器具　21　内臓機能検査用器具

管理医療機器　心臓運動負荷モニタリングシステム　36145000

特定保守管理医療機器

心臓リハビリテーションマネジメント RH-2000 システム

【禁忌・禁止】

併用医療機器

1.磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）
　［MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。］「相互作用の項参照」
2.高圧酸素患者治療装置内では使用しないでください。
　［爆発や火災の恐れがあります。］「相互作用の項参照」

使用方法

1.可燃性麻酔ガスおよび高酸素濃度雰囲気内では使用しないでください。
　［爆発や火災の恐れがあります。］

【形状・構造及び原理等】

本システムは、心大血管疾患リハビリテーションにおける運動療法用に設計されたシステムです。表示、解析、各種機能の監視および作業負荷の調節を行うことで、心機能の評価や治療効果の判定など心臓リハビリテーションをより効果的に行うことを意図しています。

医療従事者の監視下で、同時に多人数の患者に対して個々の運動負荷装置の制御を行います。負荷量を増減する制御、負荷量を一定にする制御、負荷量を心拍数に応じて増減させる制御等を行うことができます。

本システム専用の送信機を使用して、運動療法の開始から終了までの心電図の表示および保存を行うことができます。心電図以外にも、心拍数、血圧値および動脈血酸素飽和度（SpO_2）ならびに運動負荷装置の動作状態情報の表示および保存を行うことも可能です。

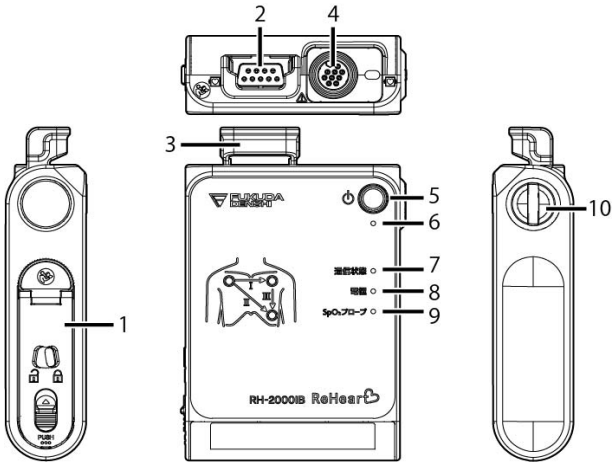
本システムのデータは様々なフォーマットで出力することができ、心臓リハビリシステム本体、外部メモリ、外部機器およびシステムに保存したりそれらから読み込んだりすることができます。

また、心臓リハビリテーションを効果的に行うための運動負荷試験を行うことも可能です。

外観図

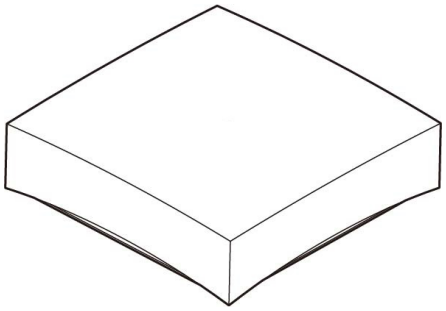
1.心臓リハビリシステム本体

2.心臓リハビリシステム無線インプットボックス
寸法:72 mm (W)×27 mm (D)×102 mm (H)（突起部を除く）
質量:約 160g

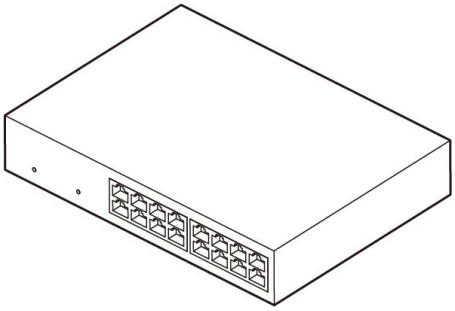


番号	名称	番号	名称
1	電池蓋	6	電源 LED
2	SpO_2 コネクタ	7	通信 LED
3	センサロック	8	電極 LED
4	心電コネクタ	9	SpO_2 プローブ LED
5	電源キー	10	ストラップ取付穴

3.心臓リハビリシステムアクセスポイント



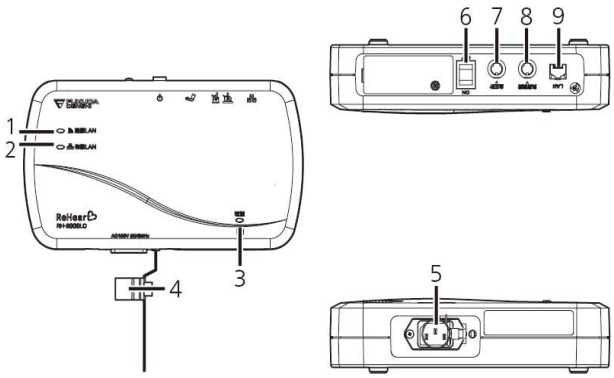
4.心臓リハビリシステムハブ



取扱説明書を必ずご参照ください。

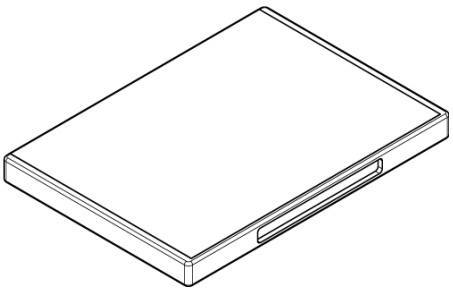
4L012165B

5.心臓リハビリシステム負荷コントローラ
寸法:220 mm (W)×130 mm (D)×55 mm(H)（突起部を除く）
質量:約 1.0 kg



番号	名称	番号	名称
1	無線 LAN LED	6	電源スイッチ
2	有線 LAN LED	7	自動血圧計用シリアルコネクタ
3	電源 LED	8	負荷装置用シリアルコネクタ
4	コードクランプ	9	LAN コネクタ
5	AC 電源コネクタ	-	-

*6.心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェア
*



構成品と種類

名称	型式	備考
心臓リハビリシステム本体	RH-2000	汎用タブレットに医療機器たるソフトウェアをインストールしたものです。 心臓リハビリシステム無線インプットボックスとの Bluetooth 通信にて、計測、解析、表示、保存、各種フォーマットでの出力を行います。 また、無線 LAN 通信で心臓リハビリシステムアクセスポイントを介して心臓リハビリシステム負荷コントローラと通信し、運動負荷装置の負荷量の調整、血圧値の表示、保存および各種フォーマットでの出力を行います。 汎用タブレットとしては、 ・IEC 60950-1 または IEC 62368-1 ・CISPR 32/CISPR 35 同等の規格または VCCI に適合した機器を使用します。 患者環境内で商用電源を用いて使用する場合は、分離変圧器を使用してください。
心臓リハビリシステム無線インプットボックス	RH-2000IB	心電図データおよび SpO_2 データを収集し、Bluetooth 通信で心臓リハビリシステム本体に送信します。 なお、SpO_2 データのみを収集することはありません。
心臓リハビリシステムアクセスポイント	RH-2000AP	患者環境外で使用し、無線 LAN 通信のアクセスポイントとして機能します。 ・IEC 60950-1 または IEC 62368-1 ・CISPR 32/CISPR 35 同等の規格または VCCI に適合した機器を使用します。
心臓リハビリシステムハブ	RH-2000HUB	患者環境外で使用し、有線 LAN 通信のスイッチングハブとして機能します。 ・IEC 60950-1 または IEC 62368-1 ・CISPR 32/CISPR 35 同等の規格または VCCI に適合した機器を使用します。
心臓リハビリシステム負荷コントローラ	RH-2000LC	心臓リハビリシステム本体が運動負荷装置や血圧計と通信するために、心臓リハビリシステムアクセスポイントとの無線 LAN 通信または心臓リハビリシステムハブとの有線 LAN 通信の通信インターフェースの変換を行います。
*心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェア	*RH-2000MP	*患者環境外で使用し、心臓リハビリシステム本体から受け取ったデータを集約して表示したり、心臓リハビリシステム本体を操作したりすることができます。 ・OS:Windows11 Professional ・CPU:Core i5 以上 ・メモリ:8GB 以上 ・SSD:256GB 以上 ・ディスプレイ解像度:1920×1080 ドット以上 ・IEC 60950-1 または IEC 62368-1 同等の規格 ・CISPR 32/CISPR 35 同等の規格または VCCI に適合した汎用 PC にインストールして使用します。

接続可能機器
同一の販売名で型式が複数あり、特定の型式にのみ対応している場合は、その型式を記載しています。

血圧計

販売名	：運動負荷血圧監視装置タンゴ M2
医療機器認証番号	：225AIBZX00055000
製造販売業者	：株式会社エス・エム・アイ・ジャパン
販売名	：運動負荷用自動血圧計 FBX-1000
医療機器認証番号	：305ADBZX00004000
製造販売業者	：フクダ電子株式会社

負荷装置（トレッドミル）

販売名	：医用トレッドミル　MAT-3200　MAT-3700
医療機器認証番号	：229AIBZX00009000
製造販売業者	：酒井医療株式会社
販売名	：フローシーペット
医療機器認証番号	：303AIBZX00008000
製造販売業者	：旭光物産株式会社

負荷装置（エルゴメータ）

販売名	：ウェルバイク BE-260
製造販売届出番号	：33B1X10005000014
製造販売業者	：オージー技研株式会社
販売名	：ストレングスエルゴ
医療機器承認番号	：21900BZX00988000
製造販売業者	：三菱電機エンジニアリング株式会社
**販売名	：ストレングスエルゴ５
製造販売届出番号	：23B2X10006500001
製造販売業者	：三菱電機エンジニアリング株式会社
販売名	：エルゴメーター　エルゴセレクト　200
製造販売届出番号	：13B1X10278ERSL20
製造販売業者	：インターリハ株式会社

販売名	：エルゴセレクト　1
製造販売届出番号	：13B1X10278ES0001
製造販売業者	：インターリハ株式会社
販売名	：コリバル　cpet
製造販売届出番号	：13B2X00381000011
製造販売業者	：旭光物産株式会社

心臓リハビリシステム専用プログラム

販売名	：心臓リハビリシステム管理用ソフトウェア RH-2000DB
医療機器認証番号	：305ADBZX00045000
製造販売業者	：フクダ電子株式会社

・イーサネットハブ※1　一般汎用品
・パーソナルコンピュータ※1　一般汎用品
・ネットワークプリンタ※1　一般汎用品
・心電図データマネジメントシステム　[MBF-1000]
※1 患者環境外で使用し、以下に適合した機器を使用してください。
・IEC 60950-1 または IEC 62368-1
・CISPR 32/CISPR 35 同等の規格または VCCI

装置の分類

	保護の形式による分類	電撃に対する保護の程度による装着部の分類	水の有害な浸入に対する保護の程度の分類
RH-2000IB	内部電源機器	CF 形装着部、耐除細動形装着部（ECG 入力部）	IPX2
		CF 形装着部、耐除細動形装着部（SpO_2 入力部）	
RH-2000LC	クラスⅠ機器	-	IPX0

電気的定格

	定格電圧	交流・直流の別	周波数	電源入力
RH-2000IB	DC 3V	直流	-	-
RH-2000LC	AC 100V	交流	50/60Hz	10VA

動作保証条件

次の条件を満たしている環境下で使用してください。
・動作温度：10～40℃
・動作湿度：25～80%（結露しないこと）
・動作気圧：80～106kPa

作動・動作原理

本システムは、主処理部、生体信号処理部、表示部で構成されます。主処理部、生体信号処理部、表示部は、心臓リハビリシステム本体に相当します。
主処理部は、通信回路、記憶装置、表示などを制御します。心臓リハビリシステム本体は、心臓リハビリシステムアクセスポイントを使用することで、心臓リハビリシステム負荷コントローラと通信を行い、運動負荷装置や血圧計の制御データを送信します。心臓リハビリシステム負荷コントローラは、制御データを各々のインターフェースに変換し運動負荷装置や血圧計と通信を行います。なお、1 台の心臓リハビリシステム本体で、最大 2 台分の心臓リハビリシステム負荷コントローラの制御ができます。
生体信号処理部は、心臓リハビリシステム無線インプットボックスでデジタルに変換された生体信号を演算回路に取り込みます。演算回路では、QRS 波、心拍数、不整脈の検出、計測処理などを行います。なお、1 台の心臓リハビリシステム本体で、最大 2 台分の心臓リハビリシステム無線インプットボックスと通信を行うことができます。
**LAN 通信が可能な運動負荷装置を使用する場合、血圧計は運動負荷装置と接続し、システム本体は負荷コントローラを経由せずに、運動負荷装置と通信を行うことも可能です。
表示部は、主処理部で記憶した危険因子マーク(喫煙あり／なしの情報など）、RPE(主観的運動強度）、ボルグ指数、心電図波形などの生体情報や患者情報などを表示します。
*心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアを用いることで、心臓リハビリシステム本体から受け取ったデータを集約して表示したり、心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアから心臓リハビリシステム本体を操作したりすることができます（最大 4 台分の心臓リハビリシステム本体と通信可能です）。

付属品

1.医療機器

販売名	：心電図用誘導リード　クリアリードⅡ　ＣＭＴ（CMT-01CTH-0.8D、CMT-03CTH-0.8D、CMT-04CTH-0.8D）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00077
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：マグネリードＣＭＴ－（CMT-01MTH-0.8D、CMT-03MTH-0.8D）
製造販売届出番号	：13B1X00003M00010
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：シールドサニーリードＣＭＴ－（CMT-01HTH-0.8D）
製造販売届出番号	：13B1X00003M00011
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：クリアローデＴＥＯ－（TEO-172DCR）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00059
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：クリアローデ（TES-02DC）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00002
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：マグネローデ　TE-18（TE-18M-3、TE-18M-5）
製造販売届出番号	：13B1X00003000001
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：エコーローデⅢ（TE-170RT、TE-171RT）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00001
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：ディスポ SpO_2 プローブ　SPZ-（SPZ-01DAN-0.9、SPZ-02DA-0.45、SPZ-02DA-0.9、SPZ-02DS-0.45）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00107
製造販売業者	：フクダ電子株式会社
販売名	：リユーザブル SpO_2 プローブ　SPZ-04（SPZ-04RA-0.8）
製造販売届出番号	：13B1X00003S00108
製造販売業者	：フクダ電子株式会社

2.非医療機器
・AC アダプタ
・電源コード
・分離変圧器
・単 3 形アルカリ乾電池
・単 3 形充電式ニッケル水素電池
・USB メモリ
・ID カードリーダ
・バーコードリーダ
・ストラップ
・SpO_2 延長ケーブル（1.2m）（CIZ-03C-1.2）
・ポシェット（単回使用）
・通信ケーブル
・SD カード
同梱されている付属品は、付属の取扱説明書をご覧ください。

【使用目的又は効果】

使用目的

本システムは、心臓リハビリテーションにおいて、運動中の心電図の測定および記録に用いることを目的とします。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書をご参照ください。

使用前（操作準備）

1.機器の接続

*・心臓リハビリシステム負荷コントローラを有線 LAN で使用する場合は、心臓リハビリシステム負荷コントローラ、心臓リハビリシステムハブ、心臓リハビリシステムアクセスポイントおよび心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC を LAN ケーブルで接続します。

*・心臓リハビリシステム負荷コントローラを無線 LAN で使用する場合は、心臓リハビリシステムハブ、心臓リハビリシステムアクセスポイントおよび心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC を LAN ケーブルで接続します。

・使用する外部機器を接続します。

2.電源コードおよび AC アダプタの接続

・心臓リハビリシステム本体に AC アダプタを接続し、AC アダプタに接続した電源コードを、商用電源のコンセントに接続した分離変圧器に接続します。

・心臓リハビリシステムアクセスポイントに AC アダプタを接続し、AC アダプタに接続した電源コードを商用電源のコンセントに接続します。

*・心臓リハビリシステム負荷コントローラ、心臓リハリハビリシステムハブおよび心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC に電源コードを接続し、反対側を商用電源のコンセントに接続します。

3.心臓リハビリシステム無線インプットボックスの事前準備

・心臓リハビリシステム無線インプットボックスの電池蓋を取り外し、新品の単 3 形アルカリ乾電池 2 本または満充電の単 3 形充電式ニッケル水素電池 2 本を入れ、電池蓋を取り付けます。

・心電コネクタに誘導コードを接続します。

・SpO_2 を使用する場合は、SpO_2 コネクタに SpO_2 プローブを接続するか、SpO_2 プローブを接続した SpO_2 延長ケーブル（1.2m）を接続します。

使用中（操作方法）

1.電源投入

*・心臓リハビリシステム本体、心臓リハビリシステム負荷コントローラ、心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC、運動負荷装置などの電源を入れます。

2.心臓リハビリシステム無線インプットボックスの準備

・患者に心臓リハビリシステム無線インプットボックス用の心電用電極を取り付けます。

・SpO_2 を使用する場合は、患者に SpO_2 プローブを取り付けます。

・心臓リハビリシステム無線インプットボックスの電源を入れます。

3.心臓リハビリシステム本体の設定

・主要な機能の切り換え、各種設定、患者情報の入力、心臓リハビリシステム無線インプットボックスの通信設定などを、心臓リハビリシステム本体のタッチパネル上のキーで行います。

4.心臓リハビリテーション

*・心臓リハビリシステム本体または心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアを操作して心臓リハビリテーションを開始します。

・設定した負荷プロトコルに従って運動負荷装置を制御します。

*・心臓リハビリシステム本体または心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアを操作して心臓リハビリテーションを終了します。

5.記録

*・心臓リハビリシステム本体または心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアを操作して収録したデータを、外部機器、システムまたは心臓リハビリシステム専用プログラムのインストールされた PC に送信します。

・レポートを出力する場合は、心臓リハビリシステム専用プログラムを操作します。

使用後

1.電源断

*・心臓リハビリシステム本体、心臓リハビリシステムインプットボックス、心臓リハビリシステム負荷コントローラおよび心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC の電源を切ります。

*・心臓リハビリシステム本体、心臓リハビリシステム負荷コントローラ、心臓リハビリシステムアクセスポイント、心臓リハビリシステムハブおよび心臓リハビリシステム集約モニタリング用ソフトウェアをインストールした PC を商用電源のコンセントから切り離します。

・心臓リハビリシステム無線インプットボックスから電池を取り外します。

2.清掃

・次回の使用のため、機器や誘導コードを清掃してください。

【使用上の注意】

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

心電図データの表示

・ペースメーカ使用患者の心電図データを表示する場合は、ペースメーカ設定を「あり」に設定してください。ペースメーカ使用患者でも QRS 検出が正しく行えるように、ペースパルスを検出し、QRS 波と区別しています。

［ペースメーカ設定を「なし」のまま監視すると、ペースメーカパルスを QRS 波と誤って認識し、ペーシング不全を見落とすことがあります。］

重要な基本的注意

1.指定された製品以外、接続しないでください。

［正常に動作しない、性能を満たさないなどにより安全上の問題が生じる恐れがあります。］

2.機器の使用中に関して

・トレッドミルと接続した通信ケーブルの離脱、断線等何らかの機器の異常により通信が途絶えると、トレッドミルは自動的に減速しながら停止します。運動療法は監視のもと、異常事態発生時には直ちに適切な処置がとれる条件下で実施してください。

・機器および他の電気器具などに患者が触れることのないように注意してください。

*3.電磁妨害に関して

・本システムの周囲に限度を超えた強い電磁波や磁界、静電気などが存在すると、波形に雑音が混入したり、誤動作を起こすことがあります。本システムの使用中に意図しない誤動作やノイズが発生した場合には電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

4.本システムによって得られた情報のみで患者の状態を判断しないでください。本システムの情報に基づく臨床判断は、医師が本システムの機能を十分に把握し、臨床所見や他の検査結果と合わせて、総合的に判断をしてください。

5.心臓リハビリテーション中は常にイベント音が認識できるように、周囲環境に併せてイベント音の設定を行ってください。

［本システムのイベント音に気が付かず、対応・処置が遅れる可能性があります。］

6.本システムのイベント検出のみで患者の状態を判断しないでください。イベント検出の設定が OFF になっている場合には、イベントに気付かないことがあります。

7.イベントが発生した場合は、まず患者の状態を確認し、安全を確保してください。発生したイベントに応じて、適切な処置を行い、イベントの原因を取り除いてくださ

い。なお、イベント検出の設定に問題がある場合は、適切なイベント検出の設定を行ってください。
8.心臓リハビリテーションを行う際は、緊急時に適切な処置が行える条件下で実施してください。
9.RH-2000、RH-2000AP、RH-2000LC、RH-2000HUB は不安定な場所に設置しないてください。
［転倒・落下し、医療従事者や患者がケガをする危険があります。］
10.本システムを使用前に、無線通信の接続確認をしてください。
［機器周囲の電波環境により、心電図と SpO_2 の収録ができない、運動負荷装置の制御ができない可能性があります］
11.RH-2000IB を手で覆った状態で、心臓リハビリテーションを実施しないてください。
［心電図と SpO_2 の収録ができない可能性があります。］
12.単回使用電極を再利用しないでください。
［正確な心電図が測定できず、安全に心臓リハビリテーションを実施できない可能性があります。］
13.単回使用 SpO_2 プローブを再利用しないでください。
［正確な SpO_2 が測定できない可能性があります。］
14.リハビリ実績データを削除する場合、削除してよいデータか、バックアップしてあるかなど、事前に確認してください。
15.装着部位より末梢側にうっ血等の異常が生じていないかを監視してください。
［血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。また血流の阻害で正しく測定できないことがあります。］
16.長時間測定する場合、誘導コード、電極等が押さえつけられ、患者を圧迫していることが無いことを適宜確認してください。
［血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。］
17.検査前に心電図の波形と SpO_2 が正常に表示されることを確認してください。
18.付属品・オプション品について
・本システムで使用する付属品・オプション品には再使用禁止の製品が含まれます。詳細は、取扱説明書をご参照ください。
*19.RH-2000MP は患者環境内では使用しないでください。
*20.RH-2000MP は当社が指定した仕様以外の汎用 PC で使用しないでください。
*21.RH-2000MP は医師および医師の指示を受けた人以外の方は使用しないでください。
*22.RH-2000MP は仕様を満たした汎用 PC でも、本ソフトウェア以外のソフトウェアを多数起動している環境では、動作不良を起こす可能性があります。
*23.RH-2000MP にはコンピュータウイルスを防ぐ機能はありません。ウイルス対策は使用者の責任で行ってください。
［ウイルスに感染した場合、ソフトウェアが正常に動作しないばかりでなく、被検者データが外部へ流出する危険性があります。］
*24.汎用 PC の内蔵ストレージおよび外部記憶装置は永久的に動作を保証するものではありません。設定データはバックアップを取る等の運用をお願いします。
［汎用 PC の内蔵ストレージおよび外部記憶装置の故障、破損等による設定データ紛失については、当社では保証いたしません。］

相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	併用不可	MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。
高圧酸素患者治療装置	併用不可	爆発または火災が起こる恐れがあります。

併用注意（併用に注意すること）

1.除細動器
・RH-2000IB、RH-2000LC、RH-2000HUB、RH-2000AP や患者に接触した他の機器および患者に触れないでください。他の患者が、RH-2000LC、RH-2000HUB、RH-2000AP、血圧計、運動負荷装置に触れないようにしてください。
［感電の危険があります。］
・除細動を行うときは、装着した電極から離れた箇所に除細動器のパドルを当ててください。
［除細動器のパドルが電極に触れると、放電エネルギーにより熱傷が起こります。］

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

1.水のかからない場所に設置、保管してください。
2.気圧・温度・湿度・風通し・日光に留意し、ほこり・塩分・硫黄分などを含む空気などにより、悪影響の生ずる恐れのない場所に設置、保管してください。
3.傾斜・振動・衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。
4.化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置、保管しないでください。
5.次の条件を満たしている環境下で保管してください。

型式	保管条件
RH-2000	温度：-10~60℃ 湿度：10~90%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa
RH-2000IB	温度：-10~60℃ 湿度：10~95%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa
RH-2000LC	温度：-10~60℃ 湿度：10~95%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa
RH-2000AP	温度：-10~50℃ 湿度：15~90%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa
RH-2000HUB	温度：-10~50℃ 湿度：15~85%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa
*RH-2000MP	*温度：-10~60℃ 湿度：10~95%(結露しないこと) 気圧：80~106kPa

耐用期間

6 年［自己認証（当社データ）による］

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

日常点検

・日常点検は、取扱説明書の日常点検記録表に従って毎日行ってください。

・清掃は当社指定の医療機器清拭クロス（OAZ-10 シリーズ）で拭いてください。または、アルコール（エタノール、イソプロピルアルコール）をガーゼや脱脂綿等に含ませて、固く絞ってから拭いてください。その後、布でから拭きをしてください。

業者による保守点検事項

定期点検

定期点検は、医用電子機器の場合、故障や事故を未然に防ぎ、安全性・有効性を維持するために不可欠な作業です。取扱説明書の定期点検記録表に従って 1 年に 1 回行い、記録を残してください。詳しくは最寄りの販売会社、営業所までお問い合わせください。

定期交換部品

本システムの安全性、機能、性能などの信頼性を維持するために、定期的に交換の必要な部品があります。交換の際には最寄りの販売会社、営業所までお問い合わせください。

・RH-2000 の内蔵バッテリ

定期交換時期：充放電回数 500 回

充電を行ってもすぐ残量がなくなる場合はバッテリの寿命ですので、新しいバッテリと交換してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

フクダ電子株式会社

** 電話番号：03-5802-6600（お客様窓口）